



## 4月議案説明会のご報告と、主なご質問への回答

4月の議案説明会にご出席いただいたみなさま、ありがとうございました。4月16日橿原会場6名、17日奈良会場10名、18日郡山会場4名、オンライン開催14名のご出席をいただきました。同封の総代会議案書をご覧ください。参考にになりそうなご質問・ご意見をいただきましたので、ご紹介します。ご不明な点やご意見は「ご意見書」にお書きください。通常総代会へのご出席お待ちしております。よろしくお願いいたします。

### ◆2023年度報告について

Q1.2023年度は1点単価が上がったことで受注高が増加したが、受注点数は減っているという説明があった。コープ自然派は世の中の物価高に比べると頑張っているという印象があるがどうか。

A1.配送の効率化など無駄を減らす努力はしていますが、どうしても値上げせざるを得ないケースも増えています。組合員のみなさんにはご負担をおかけしますが、生産者やメーカーの持続可能な生産体制を維持するためにご理解をよろしくお願いいたします。

Q2.朝焼きパンの余剰分を子ども食堂などに寄付する取り組みに賛成です。フードロス対策として効果はどうか。

A2.パンの寄付を受け取ってくださる子ども食堂などが6団体登録してくれています。取りに来ていただくことで、現在のところパンを捨てることなく運用できています。

Q3.リサイクルの取り組みで、回収しているものを知りたい。

A3.ホームページに記載がありますのでご覧ください。また、2024年度は「びん再利用ネットワーク」に正式加盟し、さらに取り組みを進めていきます。



Q4.カタログ、チラシ類を減らしてほしい。

A4.オンライン注文される場合は、注文番号:900003でカタログを停止できます。ただし、自然派オンラインに掲載のないチラシは配布を継続します。また、カタログ古紙は回収していますので、配送時に返却してください。

Q5.社会福祉法人コープ自然派どもについて詳しく知りたい。

A5.コープ自然派がこれから福祉事業に取り組んでいく先駆けとして、2023年5月に徳島で設立されました。有機農業による農福連携を目指し、有機の学校と就労支援の現場が一体となった福祉施設を建設します。奈良でも今後「福祉ビジョン」を策定し、福祉事業に取り組んでいけるよう進めていく予定です。

Q6.野菜セットの売上が不振とのことですが、カタログで見つけにくいことも原因ではないか。

A6.カタログでは「野菜のチカラ」セットの横に掲載されています。また「まほろば元気通信」にも毎号注文番号を掲載しています。ぜひ自動注文にご登録ください。

Q7.野菜の洗浄に次亜塩素酸ナトリウムは使っているか。

A7.コープ自然派では次亜塩素酸ナトリウムを使用しているのは取り扱いません。また有機JASの認証基準でも使用不可となっています。ミールキット(食材セット)などは次亜塩素酸ナトリウムではなく、食塩水を電気分解した電解次亜水で殺菌しています。

### ◆2024年度方針について

Q8.脱退人数目標が前年より多いことに違和感があります。目標としては前年度より減らすべきではないか。

A8.加入人数が増えると、それにともない脱退も増える傾向があります。脱退対策は何か一つ取り組めばよいというのではなく生協の総合力が試されます。総合力を上げていくよう第7次中期計画に基づいて取り組んでいきます。

Q9.脱退理由を分析して改善につなげるべきではないか。

A9.脱退理由で最も多いのは「買うものがない」ですが、配送や連絡時の対応への不満が脱退につながっているケースもあります。情報発信と対応品質の改善に取り組んでいます。

Q10.ペーパーレスの方針は継続しますか。過度のペーパーレスで職員の負担が大きくなるようにしてほしい。

A10.配送時の帳票類のデータ化や、納品書・加入用紙のオンライン化など、職員の作業効率も高める方向でペーパーレスを進めています。環境負荷低減とともに、働きやすさも向上していきます。

Q11.物流2024年問題(ドライバーの残業規制)の影響は。また雇用状況を教えてください。

A11.コープ自然派の配送では、これまで残業問題などに取り組み改善してきましたので、大きな影響はありません。現在の奈良営業所の雇用状況は19コースで19名の雇用です。有給や病気などでの欠勤の場合は本部からのサポートで対応しており、もう少し人の増員を考えています。

Q12.配送スタッフとのコミュニケーションが難しく感じている。1日100件近く配りながらコミュニケーションをとるのは現実的に難しいのでは。

A12.配送スタッフの力量に応じて配送件数を調整しており、休憩をきちんととれ、残業もなく配達できる設計をしています。ただ現在の配送スタッフはほとんどがコロナ禍以降の入社で、組合員とのコミュニケーションの経験が少ないため改めて教育中です。また不在の組合員も増える中、お会いできなくてもコミュニケーションがとれるよう「担当者ニュース」を定期的に発行予定です。

Q13.SDGsはもとをたどれば原発推進の考えがあります。なにごとにも根本を考えて取り組むべきだと思う。

A13.SDGsも気候変動も表面的な情報に踊らされることなく、根本解決につながる取り組みをしていけるよう、引き続き学習を継続していきましょう。

Q14.心配な食品添加物がたくさんあります。

A14.ぜひ添加物学習会で一緒に学んでいきましょう。